

跳び続けた時間を競う 市民なわとび大会

第37回小松島市民なわとび大会が2月21日、市立体育館で開催され、小学生未満から一般の方まで365名が参加しました。

同大会は、跳び続けた時間を競うもので、この日の最長時間は小学5年生女子の部で優勝した植田胡実さん(南小松島小)の記録36分13秒でした。

小学生以下の結果は次のとおりです。(敬称略)

【小学1年生以下男子優勝】林 和輝(南小松島)

【小学1年生以下女子優勝】橋本 優空(千代)

【小学2年生男子優勝】藤崎 健(南小松島)

【小学2年生女子優勝】川風 悠(新開)

【小学3年生男子優勝】上野 春琉(和田島)

【小学3年生女子優勝】北川 夏梨(千代)



リズムよく跳び続ける小学生ら

【小学4年生男子優勝】島田 健也(坂野)

【小学4年生女子優勝】山本 千晴(南小松島)

【小学5年生男子優勝】折上 泰生(新開)

【小学5年生女子優勝】植田 胡実(南小松島)

【小学6年生男子優勝】中村 孔星(児安)

【小学6年生女子優勝】関 海李(新開)



柔道の全国大会に出場する廣瀬葵さん(写真前列中央)

柔道の全国高等学校選手権大会に出場

第37回全国高等学校柔道選手権大会の徳島県予選(1月10日開催)で見事優勝した鳴門渦潮高等学校2年生(大会当時)の廣瀬葵さん(千代小卒ー小松島中卒)が3月2日、全国大会出場の報告に市役所を訪れました。

廣瀬さんは、3月20日に日本武道館で開催される全国大会に男子個人60kg級で出場。訪れた廣瀬さんに濱田市長は「優勝目指してがんばってください」と激励の言葉を贈っていました。

認知症の人と家族を支える地域づくり

市が推進する認知症地域支援づくりの一環として、社会福祉法人健祥会に委託して行われた「認知症ケアに携わる多職種協働研修会」が3月6日、市ミリカホールで開催されました。

研修会では、介護職員やケアマネジャー、看護師、薬剤師、行政職員など、介護や医療の現場で働く多様な職種の方々がグループとなり、認知症ケアに関する演習などに取り組みながら連携を深めていました。



グループで演習に取り組む参加者ら



改修された中央会館のトイレ

中央会館のトイレを改修

一般財団法人自治総合センターの共生の地域づくり助成事業の助成をうけて、中央会館のトイレが改修されました。床の段差をなくし、和式を洋式に改修。また、手すりも取り付けられ、使いやすいトイレとなりました。

同助成事業は宝くじの受託事業収入を財源に、宝くじの社会貢献広報事業の一つとして、コミュニティ活動に直接必要な設備の整備を助成しています。

今後もより多くの地域コミュニティ活動の充実を図ってまいります。

